

令和5年度 第2回川崎市社会教育委員会議 教育文化会館専門部会摘録

開催日時：令和5年9月14日(木)

13時30分～15時30分

開催場所：教育文化会館 第4・5会議室

出席者：〈委員〉山澤委員（部会長）、権守委員、野口委員、杉山委員、箕輪委員

出席者：〈事務局〉小島館長、北村分館長、平井分館長、石田課長補佐、関口課長補佐、小宮担当係長、高橋主任（記録）

〈生涯学習推進課〉柿森担当課長

欠席者：村社委員（副部会長）、佐藤委員、石井委員

傍聴者：0名

1 開会

2 事務連絡

傍聴なし。欠席の委員3名。8名中5名の出席で過半数の出席があるため、本日の教育文化会館専門部会は成立。川崎市社会教育委員会議規則第6条第6項による。配布資料の確認。

3 館長あいさつ

4 教育委員会事務局からのお知らせ

生涯学習推進課柿森担当課長より「(仮称)川崎市民館・労働会館の再編整備」について説明。

野口委員）教育文化会館より会議室が少ないと思われるが。

柿森担当課長）過去の利用状況を踏まえて会議室等を配置、色々な用途に使えるようになっている。今まで利用していた団体に不具合の無いようにしたいと考えている。

権守委員）和室について、茶道には色々な流派があるがその点は大丈夫か。

柿森担当課長）和室となっているが茶室としても使える部屋であり、茶道の色々な流派の方からもご意見をいただいている。

箕輪委員）移転先に団体用の荷物を置く場所はあるか。

柿森担当課長）大きな荷物は置けないが、ロッカーを用意している。

箕輪委員）ロッカーの利用は無料か。

柿森担当課長) 団体用ロッカーは無料を予定している。

5 議事

(1) 教育文化会館、大師分館、田島分館の社会教育振興事業について

関口課長補佐、北村分館長、平井分館長より各事業について説明。

山澤部会長) 教育文化会館の「不登校をみんなで考える」は、申し込み人数は少ないようだが良い講座なので、悩みを共有するためのネットワークづくりや内容を深く掘り下げるような機会になればと考える。

野口委員) 大師分館の工作を取り入れてみたい。正式名称を教えて欲しい。

北村分館長) 名称はレインボースティックである。誰でも簡単に作れる。

山澤部会長) 親子やシニア世代を対象に実施しても喜ばれると思う。

山澤部会長) 田島分館は毎年東海林さんの講演を行っているが、毎年同じ講師が同じ地域で交流を続けるのも良い取組である。

箕輪委員) 田島分館のスマホ・ボランティアは、どのような募集になっているのか。

平井分館長) 去年は全4回で実施したが人に教えるレベルには至らなかった。現在去年の参加者はグループを作り勉強会を続けている。今回の講座は、新たな人を対象に募集をしている。

箕輪委員) 今年は実施回数が7回に増えた理由が分った。

(2) 研究テーマについての意見交換

研究テーマ「施設を有効活用した居心地の良いオープンスペースの設置」の趣旨と今までの経過について小島館長より説明。

箕輪委員) 机の間はホワイトボードでなく人工観葉植物を置き、Wi-Fiの説明の掲示はガラス面に表示した方が分かりやすいのでは。ガラスケース内にも展示に合わせて人工観葉植物を置いても華やかになると感じた。イベントホールが閉まっていると通路に圧迫感がありテーブルはあってもこの場所がフリースペースか分かりにくい。カフェでの活用を考えると、この場所は違う空間だとテーブルの配置も考えてより居心地の良いスペースづくりをしてはどうか。ギャラリー部分も解放した方がくつろげると思われる。

関口係長) ホワイトボードは利用方法の案内とアンケート用に使用している。イベントホールは有料で貸し出しを、ガラスケース部分はギャラリーに付随し無料で貸し出しを行っている。

山澤部会長) ホワイトボードの横に小さな人工観葉植物を置くのは可能か。ホワイトボードが無い方が外から見た時に解放感があり、何をやっているか分かるので良いという事だと思う。

箕輪委員) ギャラリーのシャッターが上がっていると圧迫感が減り、居心地の

良い雰囲気が作り出せると思われる。

山澤部会長）人工観葉植物は引き続き置く事とし、その時の場の雰囲気で置き方も考えたい。

権守委員）色々試して、一番ふさわしいものを取り入れて良いと考える。

山澤部会長）12月の見学の時に確認したい。次に広報についての拡大手段について考えたい。

杉山委員）旧ツイッターを取り入れてはどうか。せっかくの講座を知らない人がいるのはもったいない。

小宮担当係長）川崎市もツイッターはあるが所管が別のため申請して掲載してもらう流れになっている。ただし行政関係はフォロー数がそれほど多くないため旧ツイッターを取り入れてもどこまで効果があるかわからない。皆さんからの発信の方が効果的だと思われる。

山澤部会長）参加者から広めてもらうのが良いという事である。教育文化会館は口コミの周知が難しいと聞くが、教育文化会館には教育文化会館の特色があると思うのでそれを打ち出してはどうか。参加者がオープンスペースを同窓会に活用したり、学習の復習をする場として使用し、旧ツイッターで周知してもらってはどうか。登校拒否の生徒がとて増えている中で、個人的には登校拒否についてのグループにこのような場所を活用して欲しい。テーマとしては勿論登校拒否だけに限らないが、登校拒否になる前に悩んでいる人達に何らかの形で参加してもらうのが、他の市民館と違う教育文化会館のカラーではないかと思う。

箕輪委員）火曜日は「子育て」、水曜日は「不登校」のように、曜日によって目的を変えて使ってもらえるのはどうか。何もしていないままの場所だと使いにくく感じるかもしれないので何か企画をしてはどうか。長く続けている田島カフェの経験者からの意見を聞くのも有効だと思われる。

杉山委員）素敵な案だと思う。ただ表題の「誰でも気軽に集える場所」を考えると、この日は来てはいけないとなるのも避けたい。不登校がデリケートな問題も含んでいるので遠慮してしまう場合もありうる。

山澤部会長）不登校等はデリケートな内容も含んでいると思われるので、パーテーションで区切る等の工夫は必要かもしれない。

権守委員）市政だよりも見ている人が多いので広報手段として効果的である。

野口委員）日頃、教育文化会館に来ない人がわざわざ来るのは難しい。外部の人に宣伝して使ってもらいよりも今利用している人に使ってもらいのようにアピールしてはどうか。教育文化会館を利用しているすべての団体がオープンスペースの存在を知っているかと思えないのでエレベーターなど館内にポスターを掲示して周知する。講座終了後にオープンスペースで、講座の話をしながら

ら過ごせる場になると良い。お昼を食べながら講座の話しが出来る場所も必要ではないか。今利用している人により使用して貰うようにしてはどうか。

山澤部会長) 宮前市民館もオープンスペースで色々な事をやっているようだがどのような感じか。

小宮担当係長) 区役所が近くにあり図書館の入り口でもあるので人の往来が多い。広さもあり、置いているテーブル数も多い。教育文化会館の場合、避難経路の確保もあるためパーティションで区切る事も難しく、ハード面の違いがあり比較は難しい。今回のテーマは、元々何かを実施するために場所を作るのではなく、余っているスペースを有効活用したいという考えから始まっている。

山澤部会長) 講座に参加している人への有効的な活用で進める方向性がスムーズと思われる。その人達から講座参加者にオープンスペースがある事を発信してもらい、館内のエレベーターなどに案内を掲示や講座内で周知し、言葉・目から刷り込んでもらう必要がある。

小宮担当係長) コロナ期で始めたので掲示内容は控えめにしていた。余っているスペースの有効活用とともに、午前・午後と違う講座に参加する場合、昼食を食べる場所は無いかとの意見からも始まっている。内容は徐々に見直していければと考える。オープンスペースでの講座は有料で会議室を貸しているため難しいが、簡単な打合せで使って貰いたい。他の市民館では市民グループが無料で使える部屋があるが、教育文化会館にはないところからも支援したい。

山澤部会長) その趣旨からすると今参加している人に有効活用してもらおうのが良いと考える。居心地の良いオープンスペースの設置については、講座に参加している人等への有効的な活用を中心に次回検討したい。具体的には講座の後や打合せ等で利用してもらい、参加者から口コミ等の何らかの媒体で宣伝してもらおう。今後コロナの状況を見ながら食事も出来るように徐々に広げる。

(3) 今後のスケジュールについて

第3回・・・令和5年12月19日(火) 13時30分～

第4回・・・令和6年2月18日(日)

※第4回は、市民自主学級・市民自主企画事業の選考会を兼ねている。